

コミュニティってなあに？

—コミュニティのここが知りたい！—

コミュニティに入るメリットがわからないな…

コミュニティといわれても、よくわからないのよね…

そんなあなたに！

コミュニティの
ここが知りたい！

Q & A

町には、6つの地区にコミュニティ推進協議会(コミュニティ)があります。コミュニティとは、地域の方が集まって運営している最も身近な組織です。



Q コミュニティ(緒川新田区を含む)に加入すると、どんなメリットがある？

A 地域で交流や親睦が深まれば、顔見知りが増えて連帯感が高まり、災害時などの緊急時に地域が一体となって対応することができます。次の3つが代表的なメリットです。

1 いざというときに助け合える！

災害時などに、お互いの安否確認や救助活動に役立ちます。

2 地域の情報が届く！

回覧板などが定期的にまわってくるので、行事など身近な情報を知ることができます。

3 地域の課題に対し協力できる！

高齢者、子どもの見守りや防犯活動など、地域の協力・連携により事件や事故を未然に防ぐことにつながります。

Q コミュニティ会費って何に使われているの？

A 地域の皆さんが安全・安心に暮らせるよう、防災・防犯・環境・福祉などに関する活動を、地域の皆さんが協力しながら行っています。その活動を行うていくために使用しています。

Q 寄付の集金に来ましたが、払わないといけない？

A 地区の方が集金に来る場合は、公共的な募金にすること、または地区、コミュニティ、祭りなどにまつわる事業の寄付金であると思われます。あくまでも寄付金は任意であり、強制されるものではありませんので、内容をよく確認したうえで、賛同できる場合は寄付をお願いします。

Q コミュニティに入るにはどうしたらいい？

A 「転入・転居等された方へ」という用紙を住民自治課または各地区コミュニティセンターへ提出してください。詳細は、該当地区のコミュニティセンターへ

「転入・転居等された方へ」用紙配布場所

- ・役場2階 住民自治課
- ・役場1階 住民課
- ※転入・転居届を提出するときに配布
- ・各地区コミュニティセンター



コミュニティ活動の様子

問い合わせ

各地区コミュニティ
センターへ

・森岡 ☎83-3005
・緒川 ☎83-3006

・卯ノ里 ☎34-4822
・石浜 ☎83-3007

・生路 ☎83-3008
・藤江 ☎83-7950

遊べる 学べる

“もしも”にそなえる
防災DAYS!

ぼうさい フェス!

inイオンモール東浦

11.5sat・6sun

HPを
チェック!



楽しめる防災
イベントが
目白押し!



<https://higashiura-aeonmall.com/news/event/2611>

地震などの災害に備えて、「防災」について楽しく学べるイベントです! 詳細はイオンモール東浦ホームページへ

- とき 11月5日(土)、6日(日)
午前10時~午後5時
- ところ イオンモール東浦
- 主催 イオンモール東浦
- 協力 町
- 問い合わせ イオンモール東浦 ☎82-2700

女性限定

普通救命講習 I AED

指導者、受講者ともに女性に限定した講習です。主に成人を対象とした心肺蘇生法やAED取扱い方法を学びます。

- とき 11月6日(日) 午前9時~正午
- ところ 半田消防署
- その他 詳細は2次元コードへ
- 申込み・問い合わせ
半田消防署 救急課
☎0569-21-1492



コミュニティ
を代表する

石浜、生路、藤江地区の
会長さんに聞いてみた!
「どんなコミュニティ作りをしている?」



石浜地区コミュニティ推進協議会
会長 鈴木 善博さん

安心、安全で「ふるさと=いしはま」に愛着と誇りを持つまちづくりを、住民が交流連帯して進めてきました。特に石浜地区は、東・中・西の3つの地域から成り立っていますが、3つが溶け合って仲間意識を実感できるように、コミュニティまつりや区民体育祭に力を入れています。また、ごみステーションの整備や標高・避難表示をして住みやすくする工夫や高齢者の見守り活動で、ごみ出しを地域全体で助け合うなど、地道な努力も重ねています。



生路コミュニティ推進協議会
会長 原田 正治さん

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年から3年間コミュニティ事業が中止となりました。コミュニティ活動は、従来の地域住民の親睦を中心とする活動から、「あんき」に暮らせるまちを目指して「ささえあい」の新しい地域共生型の活動に変化していく必要があります。また、高齢化や少子化などの問題を解決する細かな地域づくりを行政だけで行うことは限界があり、コミュニティ活動も岐路にたっていますが、生路の皆さんと一緒に、より良いコミュニティを作り上げていきたいと考えています。



藤江地区コミュニティ推進協議会
会長 中村 六雄さん

禅の言葉に「厳谷栽松(がんこくにまつをうる)」とあります。「険しい谷の岩肌に松を植えても、厳しい環境下では松の苗は育たないかもしれないし、育つには時間がかかる。それでも今、将来のために松を植える」。この言葉のように藤江の未来を信じて、様々な事業を今から行っていくことが大切だと思います。厳しく変化する世の中では、スピードが求められることもありますが、将来の藤江のために、地域の皆さんの助けをいただきながら、丁寧にコミュニティ活動を行っていきます。